

[0239/2B-260-001]

Ver.15

2.血液学的検査 &gt;&gt; 2B.凝固・線溶関連検査&gt;&gt;2B260 プラスミノゲン

## プラスミノゲン

plasminogen

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

プラスミノゲン低値：血栓溶解療法（t-PA/u-PA）

オーダーボタン名(検体)

0239

001

プラスミノゲン

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダイテスト	
注	80 外
<b>即</b>	<input type="checkbox"/>
ケツキ.	
血液	*_*_*_*_*-54002
中検外1	**_*_*_*_*_*
B2	2ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[0239/2B-260-001]

Ver.15

2.血液学的検査 &gt;&gt; 2B.凝固・線溶関連検査&gt;&gt;2B260 プラスミノゲン

## プラスミノゲン

plasminogen

連絡先 3764

01	B2	3.2%クエン酸ナトリウム(黒)	
採取材料	血液	採取量	2 mL
測定材料		測定必要量	

凝固遠心      **凝固遠心**      凝固遠心



採取容器について

検体採取について

採取量厳守（3.2%クエン酸ナトリウム1容に対して、血液（全血）9容にて採取）

採取後検体の取扱い

室温保存

検体搬送について

採取後ただちに搬送

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血漿（凝固用遠心）	保存条件1	凍結	2週				

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
			不可	不可
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間（検体量ある場合のみ）&lt;br /&gt;

（分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照）

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項



[0239/2B-260-001]

Ver.15

2.血液学的検査 &gt;&gt; 2B.凝固・線溶関連検査&gt;&gt;2B260 プラスミノゲン

## プラスミノゲン

plasminogen

連絡先 3764

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2012/03/01	2012/01/04～	検査機器・基準値変更
3	2016/02/25	2016/02/25～	緊急異常値追記
4	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
5	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
6	2019/11/14	2019/11/14～	JLAC10分析物名称を変更
7	2019/12/16	2019/12/16～	JLAC10更新に伴う検査項目名称変更
8	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
9	2020/07/16	2020/07/16～	オーダーボタン名称変更
10	2022/01/09	2021/10/01～	検査場所変更（検査依頼数僅少のため）
11	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
12	2022/07/08	2022/01/01～	緊急異常値変更
13	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
14	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
15	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定